



みどりが丘小だより

2月号

令和8年 1月 28日発行
小川町立みどりが丘小学校

見えないものの大切さ

校長 船田真由美

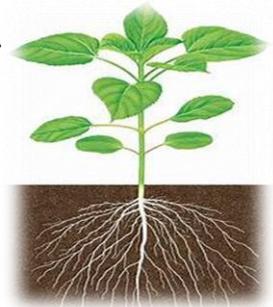
今、みどりが丘小学校では、わんぱくタイムで「長縄跳び」に挑戦しています。長縄ハの字跳びで記録に挑戦しています。軽やかに跳び続ける子もいれば、縄に入るタイミングが難しく、何度も挑戦している子もいます。得意な子ばかりではありません。それでも、列の後ろから「大丈夫だよ!」「次、いこう!」「その調子!」そんな声が自然に飛び交います。互いに鼓舞し合い、みんなでリズムをとったり、縄の回し方を工夫したり、誰かが失敗しても責めることなく、もう一度みんなで挑戦する姿がそこにあります。

もし「記録」だけにこだわってしまったら、どうでしょう。うまく跳べない子が自信をなくし、挑戦すること自体が苦しくなってしまうかもしれません。けれど、みどりが丘小の子供たちは違います。記録を目指しながらも、仲間を思いやり、支え合い、「みんなでやる」ことを大切にしています。その姿に、私はとても嬉しく、温かい気持ちになります。

このような姿を見ると、**目に見えないものの大切さ**について改めて考えさせられます。私たちが普段の生活の中で目にするのは、行動や成果といった目に見える部分が多いかもしれませんが、その背後には必ず「目に見えないもの」が存在しています。それは、**人の優しさや思いやりといった心の動き**です。フランス人の小説家サン＝テグジュペリの代表作「星の王子さま」に登場するキツネのことは、「**秘密を教えるよ。とてもシンプルなことなんだ。心で見るとだよ。大切なことは目に見えないんだ。**」という一説が示すように、心で感じ取る力がある人は、本当に大切なものに気付くことができるのだと思います。

こうした目には見えないけれど大切なことを教えてくれる言葉として、私は、昔テレビの広告で紹介されていた「人を笑顔にする算数」を思い出します。この算数は、「やさしいでしょ おもいやり算」というもので、**【たすけあう・ひきうける・声をかける・わけあう】**の4つの行動を示しています。どれも、直接目には見えない優しさや思いやりを表した行動です。小さな頃から、この「おもいやり算」を自然と実践していくことができれば、周囲の人を笑顔に、自分自身も心豊かに成長していけるのだと思います。

詩人・相田みつをさんの「**根はみえねんだなあ**」という言葉からもまた、目に見えないものの重要性を感じます。私たちは、美しい花や立派な幹、柔らかな新緑を見て爽やかな気持ちになったり、感動したりすることがあります。でも、それを支えている根に注目することはほとんどありません。植物は、地中に隠れた根がしっかりと養分や水を吸収して生長します。大木ほど、深く広く丈夫な根を張らないと倒れてしまいます。見えない所で頑張る根が植物を支えています。同じように、**人の成長や社会のつながりも、目には見えない優しさや思いやり、努力といった「心の根っこ」が支えているのだと思います。**見えないけれど、とっても大切なものです。



目に見えないものの大切さに気付くためには、「観察力」と「洞察力」が必要です。「観察力」とは、目に見える部分をしっかりと見る力です。例えば、誰かの表情や行動を注意深く観察することで、その人が今どのような状況にあるかを知ることができそうです。「洞察力」とは、目に見える部分から、その奥にある目に見えない部分を見抜く力です。例えば、笑顔の裏に隠れている努力や、沈黙の中にある優しさなどを感じ取る力です。そして、この洞察力を働かせるためには、「星の王子さま」のキツネが言うように「**心で見るとだよ**」という姿勢が欠かせません。相手の立場になって考えたり、気持ちに寄り添ったりすることができれば、「心で見ること」ができると思います。



私たちは、子供たちが目に見えるものだけではなく、その奥にある目に見えない大切なものを感じ取ることができる人に育って欲しいと願っています。「おもいやり算」のように、優しさを分け合い、互いに支え合える心を育む教育活動を大切にしていきたいと思っています。そして、春の訪れとともに、みどりが丘小の子供たちが新たな芽を出し、ぐんぐん成長していく姿を楽しみに職員一同全力で「心の根っこ」も育てていきたいと思っています。

2月は「健康な生活について」考えます

2月の生活目標

寒さに負けず
体をきたえよう



2月は1年の中で一番日数が短く、28日しかありません。しかし、学校ではそれぞれの教科の勉強がまとめに入る大事な時期です。また、それぞれの学年がクラスとして最後の“成熟期”を迎えます。限られた時間をどのように過ごすかで成長度合いもぐんと変わります。毎日の生活の中で目標をもち、そこに向かってどんな努力ができたのか、また何が足りなかったのかを振り返りながら、一步一步確実に、そして大きく成長してほしいと願っています。

さて、寒さが一段と厳しくなっていますが、みどりが丘小学校では、体調を崩す子供が比較的少ないように感じます。その理由として、【寒さに負けない体づくり】と【温かい心の触れ合い】の二つが考えられます。

みどりが丘小の子供たちは、年間を通して休み時間に校庭で思いきり体を動かし、病気や寒さに負けない体づくりに取り組んでいます。また、困っている友達に手を差し伸べるなど、思いやりのある行動を通して心も育てています。子供たちが心身ともに丈夫で、温かい心をもった人に成長していけるよう、これからも一人一人の小さな努力の積み重ねを大切にしていきたいと思います。

学校生活レポート



【全校：不審者対応訓練】

☆「もしも、このみどりが丘小学校に刃物を持った不審者が進入してきたらどうするのか」を想定し、小川警察署の警察官の皆様のご協力のもと、不審者対応訓練を行いました。訓練は練習ではありません。今日の行動が、みんなの命を守ります。本校では年間を通して、避難を要する訓練の際、子供たちに、「どんな訓練も、【想像すること】【真剣に取り組むこと】が、自分や友達、周りの人の命を守る行動につながる」ということを指導しています。



【全校：書きぞめ競書会】

☆会場には、ピンと張りつめた空気が漂い、一文字一文字に心を込めて真剣に書き上げる子供たちの姿が印象的でした。



【6年生：和紙漉き体験をしました】

☆一人一人がそれぞれの思いを込めて漉いたピンク色の和紙は、卒業式で身に付けるコサージュになります。

【4・5年生：お琴で♪さくら♪を演奏しました】

☆お琴の先生をお招きし、日本の伝統音楽に親しみながら「♪さくら♪」の演奏に挑戦しました。



【2年生：読み聞かせの風景】

☆この時間はいつも本の世界に引き込まれ、物語を楽しんでいます。

【1年生：風。つかまえた。】

☆元気に走って、ビニールに風を集める。風と仲よくなりました。

【3年生：史跡の博物館にて】

☆昔の道具に触れる体験を通して、くらしの知恵や工夫を楽しく学びました。

【再確認】今年度最後の授業参観・学級懇談会について

2月17日(火)(2・4・6年・わかば学級) / 2月20日(金)(1・3・5年)に実施します。

詳細は、1月9日付の配付文書をご確認ください。

